



【資料2】平成29年度 沖縄県小中学校 ICT活用実践事例記入例（実物投影機）

実践者名（ ○○ ○○ ）

市町村名	○○市	学校名	○○小学校	学年	5年
教科	算数	単元・題材名	四角形と三角形の面積		
<p>【単元（題材）または本時のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・底辺と高さが同じ時に三角形の面積が等しいことに気づき、どの三角形でも求積公式が適用できる。そこで、フラッシュ教材を活用し、三角形の頂点の位置を高さを変えずに動かしながら変形し、高さや底辺の長さが等しい場合には、三角形の面積も等しくなることを理解できるようにする。 					
<p>【主に活用したICT機器・アプリ（ソフト）・コンテンツ等とそのねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板…底辺の延長線上に頂点がある三角形の、底辺、高さがどの部分であるかを確認するために、三角形の頂点を動かして変形させて、本時の学習課題を児童が理解できるようにした。 ・実物投影機…児童のノートを画像として取り込み電子黒板に提示し、ペンで書き込んだり、大切な言葉を囲んだりして、図と式を関連付けながら説明できるようにした。 					
	主な学習活動		ICT機器・コンテンツ等の活用		
導入 15	<ul style="list-style-type: none"> ○三角形の面積の公式、底辺、高さを確認する。 ○本時で面積を求める三角形と前時の三角形の違いを確認する。 ○学習課題を確認する。 「頂点が底辺の延長線上にある三角形の面積も、「底辺×高さ÷2」で求められるか確かめよう」 		<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板 ・指導者用デジタル教科書（本時の学習内容の提示） ・フラッシュ教材（頂点の移動）  <p>写真2: フラッシュ教材で頂点の移動を説明する児童</p>		
展開 20	<ul style="list-style-type: none"> ○面積の求め方を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・三角形を平行四辺形に倍積変形して求める。 ・既習の直角三角形にして、追加した部分を引いて求める。 ○考えを交流する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板（ヒントコーナーとして活用） ・実物投影機と電子黒板（児童のノートを取り込み、画面を提示しながら説明）  <p>写真3: 実物投影機で取り込んだ児童のノート画像</p>		
まとめ 10	<ul style="list-style-type: none"> ○三角形の面積は底辺と高さで決まることをまとめる。 ○三角形は、底辺と高さが等しい時は面積が等しいことを確認する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板 ・フラッシュ教材（児童が相互に問題を出し合う） 		
<p>【活用効果（①評価の観点と②具体的変容）】</p> <p>①数量や図形についての知識・理解</p> <p>②一見、面積が異なるように見える三角形でも、高さや底辺の長さが等しい時は、面積も等しいということを理解することができた。頂点が、底辺の延長線上にある三角形の高さがどの部分かを考えている場面では、さまざまな三角形を児童が自ら操作して考えるなど、自主的に学習課題に取り組む様子が見られた。</p>					
<p>【授業等で使えるICT機器やコンテンツ（アプリ、ソフト）等などの紹介】</p>					

※国内のICT教育活用好事例の収集・普及・促進に関する調査研究事業「教育ICT活用事例集」より編集して作成